

これからの小学校教育について —保護者のニーズに着目して—

小寺 健太郎 (生涯スポーツ学科 学校スポーツコース)

指導教員 柴田 俊和

キーワード：保護者の求める小学校教育 小学校教育の実態 あるべき小学校教育

1. 緒言

近年、新聞やテレビのニュースで学校教育に関する問題や批判が多く取り上げられている。しかし、実際の学校現場を見ていると、十数年前よりも子どもへの言葉がけや対応などは良くなっていると感じられた。では、なぜ学校教育に対し多くの問題や批判が取り上げられるのだろうか。様々な原因が考えられるが、一つの原因として、学校教育が世間の期待とずれているのではないかと私は考えた。

本研究では、小学校教育に視点をあて、小学校教育に対する保護者の期待と小学校教員の考えと実態を比較し、求められている小学校教育と現在の問題点を導き出し、これからの小学校教育の方向性を示したい。

2. 研究方法

<調査方法>

選択式アンケート調査

<調査対象>

滋賀県内小学校 2校の教員 79名

3. 結果と考察

保護者は小学校教育に対し、幅広い教育を期待していることがわかった。その中でも基礎的学力・学習意欲・道徳心・社会的マナーに関する教育については、保護者は特に期待していることがわかった。

また、小学校教員も幅の広い教育を行うことが大切だと考えており、その中でも基礎的学力・学習意欲・道徳心・社会的マナー・正しい生活習慣・コミュニケーション力は特に大切に教育を行いたいと考えていることがわかった。さらに、小学校教員は、保護者が学

校教育に期待している教育内容を、きちんと実践しているという実態が明らかになった。

これらのことから、現在の小学校教育は、保護者が期待している学校教育を行うことが出来ており、学校教育と保護者の期待がずれていないことがわかった。

4. まとめ

学校教育に対して問題や批判が取り上げられるのは、保護者が期待している小学校教育と実際に行われている教育内容がずれていることが原因ではないかという考えから調査を行った。しかし、アンケートの結果からは保護者と教員の考えている学校教育は概ね等しいことがわかり、また、教員の実態としても保護者の期待していることに関しては行うことが出来ているということがわかった。

今後は、保護者のニーズだけでなく、子どもの求めや社会の要求も現状との比較の対象の材料にして、出来るだけ多くの要素を踏まえて学校教育の方向性を導き出すことが必要だと考える。また、今回とは違った項目でさらに保護者の期待を調査していくことも良い方法だと考えられる。

本来、教育とは学校・家庭・社会が連携して行っていくものである。現在、それぞれが上手く連携できていない。今後、より良い教育にしていくためには、それぞれの教育の在り方を明確にする必要があるだろう。

参考文献

文部科学省 (2008) : 小学校学習指導要領
P.F.ドラッカー著 上田惇生翻訳 (2001) : マネジメント